

single ventricular myocytes. ASA Annual Meeting, 2003, 10, San Francisco U.S.A.

- 25) 佐藤根敏彦, 高道昭一, 渋谷伸子, 畠山 登, 中丸勝人: 自動麻酔記録を導入して—その評価と展望—. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 26) 神谷和男, 樋口昭子, 加藤 晋, 齋藤伸行, 高木麻里, 野原明美, 吉田 仁, 朝日丈尚: 下肢ターニケット使用時の鼓膜温の変化—低体温予防の効果—. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 27) 佐々木利佳, 広田弘毅, 中丸勝人, 山崎光章: 妊娠におけるマグネシウムイオンの変動. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 28) 天谷由香里, 朝日丈尚, 広田弘毅, 山崎光章: 側臥位において術中気管挿管を必要とした覚醒開頭術の1症例. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 29) 堀川英世, 朝日丈尚, 広田弘毅, 山崎光章: 麻酔覚醒後無呼吸発作をきたしたMiller-Dieker症候群の1例. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 30) 笹原孝太郎, 高橋博之, 湯口 卓, 長田拓哉, 野本一博, 岸本浩史, 野沢聡志, 魚谷英之, 坂東正, 南村哲司, 阿部秀樹, 齊藤光和, 広川慎一郎, 塚田一博, 田中三千雄: EMR後に粘液癌で遺残再発した大腸腫瘍の1例. 第66回日本消化器内視鏡学会, 2003, 10, 大阪.
- 31) 佐々木利佳, 広田弘毅, 朝日丈尚, 天谷由香里, 山崎光章: 覚醒開頭術の気道管理: 側臥位における気管挿管法の紹介と連続血液ガス分析測定システムの使用経験. 第1回日本Awake Surgery 研究会, 2003, 11, 沖縄.

#### ◆ その他

- 1) 広田弘毅: 眼科医の医療業務中における救急処置について. 富山県眼科医会講演会, 2003, 2, 富山.
- 2) 釈永清志: 教育講演; 文献レビュー—心臓麻酔一般. 第8回日本心臓血管麻酔学会学術大会・総会, 2003, 9, 奈良.

## 歯科口腔外科学

### Oral and Maxillofacial Surgery

教授 古田 勲 Isao Furuta  
講師 和田 重人 Shigehito Wada  
助手 伊藤 重人 Shigeto Itoh  
助手 今村 知代 Tomoyo Imamura  
助手 姚 立 Yao Li

#### ◆ 原 著

- 1) 和田重人, 山岸美智子, 古田 勲: きわめて巨大な下顎隆起症例—切除における下顎隆起鉤の有用性—. Hosp Dent(Tokyo), 14:121-124, 2002 (前年未掲載).
- 2) 今村知代: 自傷行為による舌潰瘍形成を認めた2例. 日歯心身医学会誌, 17:89-95, 2002(前年未掲載).
- 3) Wada S., Tazawa K., Furuta I., and Nagae H.: Antitumor effect of new local hyperthermia using dextran magnetite complex in hamster tongue carcinoma. Oral Diseases 9:218-223, 2003.
- 4) Tazawa T., Wada S., Yatsuzuka M., Saito T., Nagano I., Igarashi K., Furuta I., and Nagae H.: Development of the portable inductive heating system using Dextran magnetite complex(DX)—heating characteristics in vitro and antitumor effect in VX-2 tumor-bearing rabbit—. Jpn. J. Hyperthermic Oncol. 19:79-87, 2003.
- 5) 和田重人, 古田 勲, 山秋洋人, 高桜武史: 入院管理を要した急性歯性感染症の臨床的検討—CRP値と重症度の関連について—. 日有病歯誌, 12: 61-66, 2003.
- 6) 河内和美, 和田重人, 前田美代子, 古田 勲: 当科における舌, 口唇, 頬小帯異常患者の臨床的検討. 近畿北陸地区歯科医学大会雑誌, 55:153-155, 2003.

#### ◆ 症例報告

- 1) 和田重人, 奥田泰生, 古田 勲: 口腔前庭拡張術を行った劣性栄養障害型先天性表皮水疱症の1例. 日有病歯誌, 11:155-160, 2002.
- 2) 井上さやか, 伊藤重人, 和田重人, 津野宏彰, 姚 立, 古田 勲: 下顎歯肉に発生したbasaloid squamous cell carcinoma の1例. 口科誌, 52: 195-199, 2003.
- 3) 津野宏彰, 和田重人, 伊藤重人, 高桜武史, 井

- 上さやか, 古田 勲: 高齢者に発生した巨大な骨形成性エプーリスの1例. 近畿北陸地区歯科医学大会雑誌, 55:156-159, 2003.
- 4) Wada S., Furuta I., and Okuda Y.: External dental fistula in the angulus oris with difficulty of diagnosis ; Report of a case. *Hosp Dent (Tokyo)*, 15:67-69, 2003.
- ◆ 学会報告
- 1) 伊藤重人, 松井一裕, 姚 立, 古田 勲, 高野康雄: 口腔扁平上皮癌におけるc-erbB-2発現の免疫組織学的検討. 第21回日本口腔腫瘍学会総会, 2003, 1, 沖縄.
- 2) 津野宏彰, 伊藤重人, 井上さやか, 和田重人, 古田 勲: Basaloid squamous cell carcinomaの2例—低分化扁平上皮癌との臨床病理学的比較検討—. 第21回日本口腔腫瘍学会総会, 2003, 1, 沖縄.
- 3) 和田重人, 近藤 隆, 崔 正国, 趙 慶利, 小川良平, 荒井俊之, 牧野圭祐: 6-ホルミルプテリンの温熱アポトーシス増感機構. 第5回癌治療増感シンポジウム, 2003, 2, 奈良.
- 4) Yao L., Zhou Y. L., Itoh S., Wada S., Furuta I.: Thrombospondin-1 expression in oral squamous cell carcinoma: correlations with tumor vascularity, clinicopathological features and survival. *The 44th Congress of Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons*, 2003, 4, Korea.
- 5) Kim Y., Imamura T., Uwano T., Yonemori M., Furuta I., Ono T., and Nishijo H.: Neuronal responses to taste solutions and odors during motivated behaviors in the rat amygdala and orbital cortex. *The 44th Congress of Korean association of oral and maxillofacial surgeons*, 2003, 4, Korea.
- 6) Imamura T., Furuta I.: Case Reports of replacement of deficit bone of vestibulum oris of complexPRP/ $\beta$ -TCP. *The 44th Congress of Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons*, 2003, 4, Korea.
- 7) 和田重人, 古田 勲, 高桜武史, 高橋勝雄, 井上さやか, 津野宏彰: 末期口腔癌患者におけるQOLを考慮した気管切開術. 第57回日本口腔科学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 8) 前田美代子, 古田 勲, 井上さやか, 伊藤重人: 線維性異形成症の加齢に伴う病理組織像の比較検討. 第57回日本口腔科学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 9) 井上さやか, 古田 勲, 金 佳美, 伊藤重人, 和田重人: 構音障害を伴った口蓋部筋上皮腫の1例. 第57回日本口腔科学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 10) Imamura T., Ono S., Maeda M., Takahashi M., and Furuta I.: Use of central pedicle nasolabial flap for reconstruction of the oral vestibule and defects of the buccal mucosa. *16th International conference on Oral & Maxillofacial Surgery*, 2003, 5, Greece.
- 11) Inoue S., Itoh S., Wada S., Tsuno H., Yao L., Imamura T., and Furuta I.: Cases of basaloid squamous cell carcinoma of oral mucosa. *16th International conference on Oral & Maxillofacial Surgery*, 2003, 5, Greece.
- 12) Takahashi M., Yao L., Itoh S., and Furuta I.: Thymidine Phosphorylase expression in Oral SCC. *16th International conference on Oral & Maxillofacial Surgery*, 2003, 5, Greece.
- 13) Takata S., Furuta I., Maeda M., Takazakura T., Inoue S., and Itoh S.: A case of fibrous dysplasia during 13-year clinical course. *16th International conference on Oral & Maxillofacial Surgery*, 2003, 5, Greece.
- 14) Yamazaki T., Furuta I., Inoue S., Itoh S., and Wada S.: A case of TMJ ankylosis causing 6-year eating disorder. *16th International conference on Oral & Maxillofacial Surgery*, 2003, 5, Greece.
- 15) Yao L., Furuta I., Takazakura T., Takahashi M., and Itoh S.: Histological study on HA coated implants in human mandible. *16th International conference on Oral & Maxillofacial Surgery*, 2003, 5, Greece.
- 16) 萩中仁徳, 山本晶子, 今村知代, 山田なつめ: 当科における口腔乾燥症の臨床統計. 第18回日本歯科麻酔学会中部地方会, 2003, 5, 名古屋.
- 17) 和田重人, 近藤 隆, 崔 正国, 趙 慶利, 小川良平, 荒井俊之, 牧野圭祐: 細胞内に過酸化水素を誘発する6-ホルミルプテリンによる温熱誘発アポトーシスの増感. 第9回癌治療増感研究会, 2003, 6, 京都.
- 18) 山秋洋人, 古田 勲, 和田重人, 伊藤重人, 高桜武史, 前田美代子: 30年間下顎乳白菌を維持してきた顎内金属針除去の1例. 第28回(社)日本口腔外科学会中部地方会, 2003, 6, 名古屋.
- 19) 山崎隆志, 高桜武史, 山本晶子, 和田重人, 古田 勲: 歯牙腫との併存により下顎埋伏歯が対側

- へ遊走を示した濾胞性歯嚢胞の1例. 第28回(社)日本口腔外科学会中部地方会, 2003, 6, 名古屋.
- 20) 和田重人, 近藤 隆, 崔 正国, 趙 慶利, 小川良平, 古田 勲, 荒井俊之, 牧野圭祐: 6-ホルミルプテリンによる温熱誘発アポトーシスの増感. 第19回東海ハイパーサーミア懇話会・第4回北陸高温度療法研究会, 2003, 8, 名古屋.
- 21) Imamura T., Ono S., and Furuta I.: Case reports of two patients with tongue ulcer due to automutilation. 17th World Congress on Psychosomatic Medicine, 2003, 8, Hawaii.
- 22) 山秋洋人, 高桜武史, 今村知代, 古田 勲: 多血小板血漿(PRP)と $\beta$ -TCPを併用した骨造成の臨床的検討. 第7回日本顎顔面インプラント学会, 2003, 9, 名古屋.
- 23) 高桜武史, 姚 立, 伊藤重人, 古田 勲: 放射線照射骨へのインプラント適応に関する実験的研究. 第7回日本顎顔面インプラント学会, 2003, 9, 名古屋.
- 24) 野田登志子, 古田 勲, 山本晶子, 高桜武史, 和田重人: 上顎洞アスペルギルス症の1例. 第46回日本口腔科学会中部地方会, 2003, 9, 名古屋.
- 25) 萩中仁徳, 今村知代, 前田美代子, 山岸美智子, 和田重人, 古田勲: 下歯槽管内に残痕迷入が疑われた1例. 第46回日本口腔科学会中部地方会, 2003, 9, 名古屋.
- 26) 山田なつめ, 古田 勲, 前田美代子, 山秋洋人, 山崎隆志, 和田重人: 静脈石を伴った咬筋内血管腫の1例. 第46回日本口腔科学会中部地方会, 2003, 9, 名古屋.
- 27) 朽名智彦, 山秋洋人, 高桜武史, 津野宏彰, 伊藤重人, 古田 勲: 病理組織学的に歯原性上皮細胞が散見された口蓋隆起の1例. 第46回日本口腔科学会中部地方会, 2003, 9, 名古屋.
- 28) 能登久美子, 古田 勲, 金 佳美, 津野宏彰, 高桜武史, 和田重人: 形態学および組織学的に稀であった上顎智歯奇形の1例. 第46回日本口腔科学会中部地方会, 2003, 9, 名古屋.
- 29) 和田重人, 近藤 隆, 崔 正国, 趙 慶利, 小川良平, 古田 勲, 荒井俊之, 牧野圭祐: 6-ホルミルプテリンに誘発された細胞内過酸化水素の温熱アポトーシスに及ぼす影響. 第20回日本ハイパーサーミア学会, 2003, 9, 福岡.
- 30) 和田重人, 近藤 隆, 趙 慶利, 小川良平: ヒト組織球性リンパ腫U937細胞における6-ホルミルプテリンの温熱アポトーシスの増感. 第62回日本癌学会総会, 2003, 9, 名古屋.
- 31) 今村知代, 古田 勲, 井上さやか: 増骨にPRPと $\beta$ -TCPの複合物を併用した症例の検討. 第20回日本顎顔面補綴学会, 2003, 9, 横浜.
- 32) 井上さやか, 今村知代, 伊藤重人, 古田 勲: 硬・軟口蓋良性腫瘍摘出術前後における構音機能評価. 第20回日本顎顔面補綴学会, 2003, 9, 横浜.
- 33) 伊藤重人, 古田 勲, 高桜武史, 今村知代, 津野宏彰: 顎骨高度吸収症例におけるインプラント治療の問題点と展望. 第48回日本口腔外科学会総会, 2003, 10, 富山.
- 34) 伊藤重人, 松井一裕, 姚 立, 古田 勲, 高野康雄: 口腔扁平上皮癌におけるc-erbB-2発現の免疫組織学的検討. 第48回日本口腔外科学会総会, 2003, 10, 富山.
- 35) 今村知代, 古田 勲, 小野 繁: 病脳期間が10年以上を経過した顔面疼痛治療症例の検討. 第48回日本口腔外科学会総会, 2003, 10, 富山.
- 36) 津野宏彰, 伊藤重人, 井上さやか, 和田重人, 古田 勲: Basaloid squamous cell carcinomaの2例—低分化扁平上皮癌との臨床病理学的比較検討. 第48回日本口腔外科学会総会, 2003, 10, 富山.
- 37) 津野弘美, 佐渡忠司, 伊藤重人, 古田 勲: 黒部市民病院歯科口腔外科開設後5年間における臨床統計的検討. 第48回日本口腔外科学会総会, 2003, 10, 富山.
- ◆ その他
- 1) 古田 勲: 美味嚙こそ若さの泉! 富山シティーロータリークラブ, 2003, 3, 富山.
- 2) 今村知代: 健康を考える—口の中から出来ると—. 特定医療法人財団五省会, 2003, 6, 富山.
- 3) 今村知代: インプラントとは—口の中から健康に—. 五省会ニュース, 138:2-3, 2003.
- 4) 古田 勲: “ヒヤリ・ハット”から, より安全な歯科臨床を考える—歯科臨床時の緊急・偶発症例と治療のポイント—. 学術講演会, 2003, 12, 高岡.